

事業報告書

団体名：特定非営利活動法人 森と農園のある暮らし

1. 事業名	「就活カフェ」		
2. 実施内容	実施した内容を具体的に記入してください。(日時、場所、参加者数、内容など)		
第1回	「働くことにまつわることを一緒に考えましょう!!」	6/1開催	参加5名
第2回	「働くことにまつわることを一緒に考えましょう!!」	6/15開催	参加8名
第3回	「ストレス解消法!？」	7/6開催	参加8名
第4回	「適職!？」	7/20開催	参加9名
第5回	「自分を伝える(アサーティブ・トレーニング)」	8/25開催	参加9名
第6回	「怒りのコントロール(アンガーマネジメント)」	8/31開催	参加5名
第7回	「言いにくいことをどう伝えるか？」	9/19開催	参加5名
第8回	「怒りをどう静める?(原因は自分にある)」	9/25開催	参加2名
第9回	「自分も相手も責めない話し合い方」	10/19開催	参加5名
第10回	「“イライラ”もとはなあに？」	10/26開催	参加5名
第11回	「元経営者が語る面接の心得」	11/9開催	参加7名
第12回	「親のつどい」	11/30開催	参加3名
第13回	「第一印象ってなにで決まるの？」	1/28開催	参加3名
第14回	「精神科クリニックってどんなところ?(心理療法について)」	2/18開催	参加7名
第15回	「面接の心得」	3/16開催	参加13名
※講師については、チラシ参照。いずれも定員は10名。年齢不問。計94名参加。			
3. 効果	実施による効果や成果を数値、具体例などを用いて具体的に記入してください。		
<p>そもそも「就活カフェ」の目的は、4つあり、①働くことに悩みを抱える者に対し、安心感を与える場を提供すること②自分の面倒を見てくれる人がいて、同じ悩みを抱える者がいるという感覚を持てる場を提供すること③「働こう」と思ったタイミングを逃さないように就職に至るまで必要な支援をひとつの場所での確・迅速に提供すること④必要に応じて「就活カフェ」を繰り返し開催・提供することです。</p> <p>次に、認知度向上のため、積極的な広報活動を行いました。若者だけではなく、保護者に認知されるように、市の広報誌・地方新聞に広告を載せていただき、さらには、近隣の学校やゲームセンターやコンビニ等にチラシを置かせてもらいました。</p> <p>「就活カフェ」を終えての感想は、中高年であろうと若年であろうと、就業支援の内容に基本的な差はなく、就業支援には、何より雰囲気づくりが大切であると感じました。比較的短期間で就職を実現する者もいる一方で、社会人としての一般常識や生活習慣が欠けていたり就職に到達するには、相当な時間がかかることがわかりました。</p> <p>上記のことを踏まえ、このような「就活カフェ」のような場が、求められていると改めて感じました。</p>			

※チラシや参加者への配布資料、事業実施写真など実施状況が分かる資料を添付してください。

※記載内容が本様式に入りきらない場合は、適宜追加してください。



一極化：

川、城西の4小学校、東輝と大成の2中学校では現在より増加が見込まれている。小中学校の学級数(特別支援学級を除く)は、小学校が昭和61

	S30	S40	S50	S60	H/	H1/	H20	H31
亀岡	1358	1288	1123	1073	925	610	569	550
別院	203	142	92	107	83	96	42	29
南桑	469	392	531	633	534	373	356	259
育親	223	307	177	203	329	312	144	97
高田	412	430	264	249	237	157	90	79
京輝				1373	924	664	699	714
大成				435	407	301	373	386
詳徳					545	309	323	320
計	2665	2559	2187	4073	3984	2822	2596	2434

合計 6986 7032 7350 12677 11741 8779 7546 7151
 H2610.3 亀市 ※H31は推計数

措置区域) 圏外でが、放射性ブルー飛散した放射性物質大気中を雲のようになつて流れる現の通過時に影響をすることも想定でき

を踏まえ検討 跡地の活用



竹岡敏教育長は「今後は防犯、防火などの安全上、建物の除去を計画している。要望に

別院と西別院は2、3年生が複式学級のため、5学級の「過小規模校」になっている。その一方、つじヶ丘が24学級、安詳が25学

市教委は、平成25年度に市教育振興基本計画(かめおか教育プラン)を策定した。計画期間は32年度までの8

のより健やかな育成を図るためには、望ましい学習・生活集団を形成し、よりよい教育環境を整備し、魅力ある学校づくりを進めてい

の会議室で。議題は、今年度中に実施する市民アンケートの質問項目や回答の対象者などについて。一般市民の

から市役所2階に基本方針を策定する。同検討会議の会長を除く委員は次のみならず、順不同。

- 大西章弘、柳原和明、塚田真、三浦正昭、山田珠美、服部竜一、和田誠司、野波雅紀、石田教美、木曾布恭、川勝哲也

若者57人の進路決定

京都丹波サポステ 4〜8月の実績

働くことに不安や悩みを抱える若者(15〜39歳)の自立支援に取り組み「京都丹波若者サポートステーション(追分町)はこのほど、4〜8月の実績をまとめた。それによると、就職と進学を合わせた進路決定者は57人に達し、昨年一年間の70人に迫る人数となっている。

また、年に数回開催しているリクルート社の就活セミナー「ホンの就職」の利用者数は5月が30人、8月が14人で、両月とも受講途中で各1人の内定者を出した。今後は11月と来年2月に予定して

就職相談や居場所づくりを目的にした「就活」は、6月のスタートから計44人が参加。これから仕事を始めようと考えている子育て中の女性など、幅広い層の市民が足を運んでいる。

利用者や職員たちは

【森川孝則】

5日に「ハートフェスタ」 利用者ら構成詩の練習に励む



亀岡福祉会と信和福祉会、自立支援センターかめおかのか3法人でつくる実行委員会が主催する「ハートフェスタ」は、6月5日に開催された。会場では、かめおか作業所など3法人の各施設利用者によるステージ企

【森川孝則】

実績の家 システムで格安 改装

入校生募集中!! 19 通称色証

Advertisement for a service or product, featuring a woman's face and a building.

＜将来事業継続への考え方について＞

亀岡市は、京都市に隣接しているが、亀岡盆地の閉ざされた環境の地理的条件と大都市に隣接しながらも手つかずの自然が残る文化的な違いにより、住民意識は京都市域と比較してもかなり閉鎖的な土地柄である。

当団体は、子どもの居場所づくりにかかわる事業を行い、なかでも、自然と共生した子育て支援事業等を展開してきており、人材育成支援のノウハウの蓄積がある。

そんななか「駅前に居場所がほしい」という参加者の声を聞き、理事長提案のもと「就活カフェ」を企画した。

社会的・職業的自立へ誘導するには地方自治体との協働により、関係諸機関の協力が不可欠である。当団体は、特に「就労」「福祉」「教育」のすべての分野に深い関わりを持っており、これらを有機的につなげると思い「就活カフェ」を開設した。

亀岡市在住・在勤で就労を目指しておられる全世代の方を対象としている。ただ、亀岡市は、多くを近接大都市に依存しており、地域の持続的な発展のため産業基盤としての若者を活用し、育てなければならないという地域的要請もあることから、この地域特性に合わせたキャリア支援が欠かせないというところもある。

以上のことから、将来事業継続への考え方については、亀岡市は、亀岡駅前に京都府のサッカー専用スタジアム建設等で、これからの2、3年で社会環境が確実に変化する状況である。

今後も、多様な講師を招き、一方通行のセミナーではなく、参加者全員で問題提起できる「就活カフェ」の実現を目指していきたいと考えます。

京都府南丹地域15～39歳人口及びニート・ひきこもり数

市区町村別	15～19 歳	20～24 歳	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳	合計	ニート ひきこもり数 (2%計算)
亀岡市	5,017	5,420	5,080	5,685	6,489	27,601	552
南丹市	2,218	2,425	1,546	1,595	1,858	9,637	193
船井郡 京丹波町	730	503	524	675	795	3,227	65
合計	7,965	8,348	7,130	7,905	9,117	40,465	809